

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記の研究検査項目の受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [27053] FGF-23

受託開始日

- 平成29年12月1日(金)



FGF-23

線維芽細胞増殖因子23 (Fibroblast Growth Factor-23 ; FGF-23) は骨ミネラルの代謝調節において内分泌的に重要な役割を担うタンパク質として注目を集めています。

FGF-23はFGF19 subfamilyに属し、主に骨において産生される251個のアミノ酸により構成されるタンパク質で、活性型ビタミンDや副甲状腺ホルモン (PTH) などと共に骨ミネラルの代謝調節において中心的な役割を担っています。

骨細胞や骨芽細胞に発現しているFGF-23は近位尿細管に働きかけてリン酸排泄を促したり、活性型ビタミンDの産生を抑制することにより血清リン濃度を低下させたりする機能を持っています。

このようにリン代謝調節に大きく関与していることから、FGF-23の低下は家族性高リン血症性腫瘍状石灰化症の原因となり、過剰産生は低リン血症によるくる病や骨軟化症を引き起こすことが分かってきました。

初期の慢性腎臓病 (CKD) ではFGF-23が上昇し、CKDが進行するとFGF-23単独では血清リン濃度の上昇を抑制できなくなり、PTHの分泌が促進されますが、これらが破綻するとさらに高度な血清リン値の上昇が認められることとなります。

この結果引き起こされる骨・ミネラル代謝異常 (CKD-MBD) や二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) におけるFGF-23の測定意義が期待されています。

検査要項

項目コード	27053
検査項目名	FGF-23
検体量/保存方法	血清 0.3mL / 凍結 [容器番号：01→容器番号：02]
検査方法	EIA
参考基準値	22.9~67.0 pg/mL
所要日数	5~19日
検査実施料	未収載

参考文献

Yamazaki Y, et al : J Clin Endocrinol Metab 87 : 4957-4960, 2002.
道上敏美 : 骨粗鬆症治療 16 (1) : 15-20, 2017.